



2025年3月10日に開催された

2024年度第8回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●2025年度事業計画について

- ・事業方針と重点実施項目は理事会で説明済。指摘を受けて重点実施項目に2点追記した。
 - 1)-1 バレーボール・ビーチバレーボールともに世界レベルでの情報収集～
 - 5)-2 都道府県バレーボール協会の法人化に向けた説明会を継続的に開催し、支援策等の合意形成を図りながら法人化を推進する。
- ・事業活動は日付や場所等、詳細が決まった部分を更新した。

【決議事項】

提案の通り、2025年度事業計画が承認された。

なお、詳細はJVAホームページをご確認ください。

[2025_business.pdf](#)

●2025年度予算について

- ・予算の内容は1月理事会で説明したとおり。合わせて内閣府に提出する予算書の書式および資金調達、設備投資の見込みを記載するフォーマットを確認いただきたい。
- ・資金調達・設備投資はともに実施予定なし。

【決議事項】

提案の通り、2025年度予算が承認された。

なお、詳細はJVAホームページをご確認ください。

[2025_budget.pdf](#)

●事務局規程の改定について

- ・会議体をはじめ、事務局や委員会など全体を見直す件について、これまで説明してきたものの最終案として、「事務局と委員会」についての提案。
- ・事務局に関しては、現状の「本部/部」を「グループ/チーム」として動きやすい形とする。
- ・グループ(現本部)は業務推進、ハイパフォーマンス、競技普及、ビーチバレーボール、マーケティングの5つ。
- ・チーム(現部)の想定は以下のとおり。スタート時点での想定のため、実際に稼働してみても見直して



いく可能性はある。

- 業務推進：企画推進、経理、国内・国際渉外
 - ハイパフォーマンス：ハイパフォーマンス推進
 - 競技普及：競技普及、指導者・審判養成
 - ビーチバレーボール：ビーチバレーボール推進
 - マーケティング：パートナーコミュニケーション、ファンコミュニケーション、広報
- プロジェクトは以下の4つを置く。
 - 組織基盤改革、イベントプロデュース、100周年記念事業、部活動改革
 - グループ・チーム、プロジェクトで事務局を回していきたい。これまでの課題であった縦割りの弊害の改善を図る。各職員は複数の担務を持つ形にする。4月にスタートし、最終的には新理事体制となる6月に完成させたい。
 - レポートラインや責任権限などを明確にした資料も6月の新理事体制が決まる際にお示しする。
 - 委員会は以下の5種に分類する。
 - 司法、諮問、特別、運営、競技会実行委員会現委員会を基に、5種別それぞれに設置する委員会を検討した。
- 役員担務について今回は現担務からの読み替えとし、6月新理事体制までは移行期間とさせていただきたい。6月には全容を改めてお示しする。

【決議事項】

提案のとおり、事務局規程の改定が承認された。

【補足事項】

- 組織変更に合わせて、業務の進め方についても見直しを行う。マルチタスクとなることによる業務負荷も留意する。また適切に評価される環境を作る。キャリアパス等、職員にとって魅力ある職場となる点も検討する。
- 組織変更により、会長、専務理事が全体を把握できるように改善する。業務執行理事や事務局内の横の連携を充実させていく。JVAが新しい組織で運営していくことを内外にわかるよう工夫する。
- レポートラインや責任権限、事務局の関わり方がわかりやすくなる資料を作成し、今後の理事会でお示しする。

●委員会の統廃合および所管事項の決定について

●委員会規程の新設について

- 委員会の精査を規程に反映させているため、2議題をあわせて審議いただく。
- 委員会の種別は先の議題で説明したように以下の5種。
 - 司法、諮問、特別、運営、競技会実行委員会現委員会を基に、5種別それぞれに設置する委員会を検討した。
- 委員会構成や規程が承認され次第、現状の委員会を移行していく。最終的には6月の改選のタイミン



グで移行を完了させる。

- ・委員会の所管事項とあわせて、担当事務局も明記した。今後は担当部署が主事の方と力を合わせて委員会を回していく。
- ・各委員会の担当については、現状は部署での記載であるが、今後は個人名でアサインしていく。

【決議事項】

提案のとおり、委員会の統廃合および所管事項、委員会規程の新設が承認された。

●強化委員会の解散について

- ・技術委員会の設置に伴い、傘下に「部会」として現行の強化関連の委員会を配置する。
- ・現強化委員会（バレーボール男子/女子、ビーチバレーボール）も部会としてまとまっていくため、委員会の解散および各委員長の解任を審議いただきたい。
- ・委員会全体の完全切り替えは6月だが、代表強化については監督も決まり進行しているため、6月を待たず進めたい。

【決議事項】

提案のとおり、強化委員会の解散が承認された。

【補足事項】

今後の強化関連の見直し（技術委員会の見直し、監督人事等）に関連するスケジュールを明確化する。

●会長の利益相反取引について（出演料の確認決議）

- ・過去の理事会で承認された覚書に基づき、今年度の出演料・講演料を支払いたいもの。
- ・出演料・講演料の確認と、2025年度の覚書締結について審議いただきたい。
- ・2025年度覚書では、配分比率を含め内容は変更していない。自動更新だけ加筆したい。

【決議事項】

提案のとおり、会長の利益相反取引について承認された。

●JOC ナショナルコーチの選任について

- ・JOCが実施するコーチ等設置事業に申請する候補者を審議いただきたい。
- ・バレーボール、ビーチバレーボールから候補者を出して集約している。
- ・バレーボール女子関連に関しては、監督が決まったばかりであり現在調整中。
- ・強化スタッフを選任する際の一番の課題は予算面。ある程度の予算をかけないと良い人を連れてくることは難しい。



【決議事項】

提案のとおり、JOC ナショナルコーチの選任が承認された。

【補足事項】

JVA 内で予算の立て方を見直す。強化をはじめとして各部が必要な支出が捻出できるよう収入を増加させる、支出の上限にあわせて戦略的に予算を配分する等の工夫が必要。また例年のように 11 月頃から検討しても間に合わないため着手を早める。

●功労者 I 表彰決定について

- ・ JVA 内での検討に加え、加盟団体に推薦を募った。表彰委員会で候補者 3 名全員が基準を満たしている確認がとれたため、理事会に推薦する。

[2024 年度功労者表彰候補者]

- 柿木 章／大阪府バレーボール協会推薦
- 下山 隆志／日本バレーボール協会推薦
- 田野 敏彦／高体連バレーボール専門部推薦

【決議事項】

提案のとおり、功労者 I 表彰が承認された。

●加盟団体規程の改定について

- ・ 岩手県協会が法人格を取得したため、加盟団体規程内の名称を変更したい。
- ・ 現在法人化が進んでいるため、法人格取得による名称変更だけの場合、今後は業務執行理事会に権限委譲させていただきたい。承認される場合、業務執行理事会での改定があった場合には直後の理事会で報告する。

【決議事項】

提案の通り、加盟団体規程の改定と、今後の業務執行理事会への権限移譲（名称のみの変更の場合）が承認された。

<報告事項>

●2024 年度第 4 四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規定に基づき、2024 年度第 4 四半期職務執行報告が会長、業務執行理事、本部長より行われた。

●他団体役員候補者推薦について

JOC、JSPO 両団体からの新理事候補者の推薦依頼があった。候補者の確認と併せて、その他団体・FIVB・AVC 等海外の関連団体の役員、委員等の報告が行われた。



●功労者Ⅱ表彰決定報告

[第16期(2024年度)第2回功労者Ⅱ表彰授賞者]

- 一般社団法人岩手県バレーボール協会／平野 和彦
- 一般社団法人山形県バレーボール協会／齋藤 篤
- 一般社団法人埼玉県バレーボール協会／松原 渉
- 福井県バレーボール協会／松田 美喜枝
- 京都府バレーボール協会／渡辺 弘
- 奈良県バレーボール協会／丸山 正博
- 一般財団法人兵庫県バレーボール協会／瀬戸川 孝
- 島根県バレーボール協会／安藤 文雄
- 徳島県バレーボール協会／楠本 昌明
- 佐賀県バレーボール協会／塚原 康弘

●委員会委員の選任について(技術委員会、アスリート委員会)

技術委員会(一部人選は調整中)、アスリート委員会(次期体制)の委員が業務執行理事会で決定し、理事会で報告された。

以上